

「宇和島市消防団入退団式」

この2月の寒さの反動からか、市内のサクラも例年に比べて約1週間早く開花しました。その後晴天に恵まれたこともあり、多くの皆さんが市内各所でお花見を楽しんだのではないのでしょうか。

この時期と言えば、別れと出会いの季節。定年などで第一線を退き第2の人生に移行する人、学校を卒業して進学、就職する人、心機一転、新たな目標に向けて挑戦する人など、多くの夢や希望、そして少しの不安を感じながらこの時期を過ごしていることと思います。

4月8日(日)に開催された、「宇和島市消防団入退団式」でもそのような光景が目に見えられました。市消防団は、所属団員数が2,000人を超え、その広い守備範囲とともに県下随一の組織率を誇ります。彼らは、いざというときのために普段から訓練にいそしみ、消防署とともに地域の安心安全を守るための活動をしています。

今後予想される南海トラフ地震のような大規模災害のみならず、台風などの風水害、行方不明者の



捜索など、出動となれば危機管理課などに幹部団員が詰め、現場の団員と連動して活動しています。市長に就任した後にその光景を何度も目にしましたが、大変心強い限りでした。

今年度は新たに95人を迎え、入団員は頼もしい姿で式に臨みました。また、会場にはスーツを身にまとった人も。この節目の時期に、消防団の制服を置き、退団を決意した人たちです。彼らの表情は一様にすがすがしく、それは任務を全うした充実感がそうさせているように感じました。

長きに渡り、本当にお世話になりました。



今が旬「イワガキ」



本市でのイワガキの養殖は、平成18年から試験的に始まりました。

このころ、真珠の母貝養殖が落ち込んでいました。それに変わる産業として、市水産課の指導のもと 蔭淵地区で養殖に取り組み、平成21年ごろから、市内外に出荷を続けています。

本市での生産方法は、ほかの地域とは異なる特徴があります。親貝を養成し産卵させ、生産者自らで稚貝の確保を手がけています。これが安定生産につながっている1つの要因でもあります。

4月～6月に旬を迎え、大きいものでは400gにもなり、手の平からはみ出すほどの大きさになります。皆さんもぜひ味わってみてはいかがでしょうか。



かんたん蒸し牡蠣

- ①殻が平らな面を上にして耐熱皿にのせる。
- ②軽くラップをかぶせ、電子レンジ500Wで1個につき約1分加熱(殻が開く程度)。
- ③殻を開けて、レモン汁、ポン酢などをかけて完成。



カキの栄養マメ知識

グリコーゲンやタウリンも豊富なことから、肝機能を高める効果や疲労回復効果が期待できます。さらに、鉄分、カリウム、各種ビタミン類、亜鉛などさまざまな栄養素が豊富であることから「海のミルク」と呼ばれています。